広島歯科医学雑誌投稿の手引き（令和４年３月３日改訂）

広島歯科医学雑誌への投稿では，投稿規程のほかは本手引きに準拠する．

１．投稿の方法

１）投稿原稿には，総説，原著，症例報告，臨床などの別を記入する．

２）投稿原稿には表題，著者名，本文原稿枚数，表・図または写真の枚数（特に指定事項があれば付記），別刷希望部数（必要な場合），校正連絡先（氏名，住所，電話・ＦＡＸ番号）を別紙に記入して表紙として添付する．

例：

原著

表題	幼児の歯科検診について
原稿総ページ（図表を除く）	20
図	7（図 1，3 は要トレース）
表	4
写真	4（アート紙使用，図 9，10 はカラー）
別刷数	○○（必要な場合は刷数を記入．ただし実費）
連絡先	二葉の里太郎 二葉の里歯科医院 〒732-0057　広島市東区二葉の里３丁目２番４号 電話 082(263)8020
著者の所属，氏名	広島市歯科医師会 二葉の里太郎 広島大学歯学部○○講座 二葉の里花子

２．投稿原稿の書き方

１）論文の記述様式

（１）論文を分けて発表する場合には，主題の次に第１報あるいはＩと書き，その内容を具体的に表す副標題を付記する．

（２）表題，氏名の順に記載する（欧文も併記）．所属，学会発表などに関する記事は「表題脚注」として記載する．

例：

幼児の歯科健診について　　１行あける

二葉の里太郎，二葉の里花子*

２行あける

On the Survey of Dental Disease of Children　　１行あける

Taro Futabanosato and Hanako Futabanosato *　　１行あける

（令和　年　月　日受付）　　１行あける

キーワード：幼児，歯科検診，３才児　　２行あける

Ⅰ　緒　言　　１行あける

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

２行あける

Ⅱ　研究方法　　１行あける

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（３）キーワードを３語句（日本語）付記すること．　　「脚注」←朱書きする

（４）原則的な論文の構成を以下に示す．臨床報告など内容により考慮する必要がある．
Ⅰ緒言，Ⅱ研究方法（材料と方法），Ⅲ結果（成績），Ⅳ総括と考察，Ⅴ結論，謝辞など，文献の順とする．

（５）見出しは次の順に項目をたて，行の最初の一画をあける．
Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ・・・・・・
□　１，２，３，4・・・・・・
□　1)，2)，3)，4)・・・・・・
□　(1)，(2)，(3)，(4)・・・・・・
□　a，b，c，d・・・・・・
□　a)，b)，c)，d)・・・・・・
□　(a)，(b)，(c)，(d)・・・・・・

（６）本文の句読点標記は，(，)(．)を使用する．

（７）数字
a．数字は算用数字とする．
b．数字を含む名詞，形容詞，副詞（例：十二指腸，三角形など）は日本数字とする．
c．単位は原則として国際単位系の基本単位，補助単位および組立て単位を使用する（温度は摂氏を使用する）．略語，略号は国際的に慣用されている用語を使用する．
d．外国語はすべて原綴りとし，文頭にあっても大文字を使用しない．
e．英文の改行に際しては，word で切る．
特にワードプロセッサの場合に注意する．
f．微生物，動植物などの学名は，イタリックとし最初の文字だけは大文字で書く．

２）文献の記載様式

（１）本文で引用した順序に一連番号を付して列記し，本文の末尾に記載する．同一箇所で複数引用した場合は年代順とする．

（２）著者名は姓，名（外国人はイニシャルのみ）の順とする．

（３）共著の場合は筆頭者を含め３名まで記して，４人目以下の共著者は，「ほか」または「et al」と略す．ただし，編集委員会が認めれば４名以上を記載することができる．

（４）引用文献の表示は原著の表示に従う．英文の場合は，文頭の語の頭文字のみ大文字とする．

（５）雑誌文献引用記載は次の方式による．
a．雑誌論文は著者：表題，雑誌略名，巻：頁～頁，発行年，（西暦表示とする）の順に記載する．ただし，頁は通巻頁とする．
b．雑誌の略名は当該誌が標榜する略称とする．それ以外は医学中央雑誌の略名表と Index Medicus に準拠する．
c．原書あるいは原論文がえられずに引用する場合は，末尾に（から引用）と付ける．
d．投稿したが未発刊の文献は末尾に投稿中，掲載予定と記載する．

例：
山崎彰啓，清水政利，黒崎俊一ほか：印象採得法の臨床的検討，補綴誌，32:403～408,1988.
Beresin,V.E.and Schiesser,F.J.:The neutral zone in complete denture，J.Prosthet.,Dent.,36:356～357,1976.

（６）単行本文献引用記載は次の方式による．
a．単行本は著者：書名，頁～頁，発行者，発行地，発行年の順に記載する．
b．単行本の書名は略記しない．

例：
藤田恒太郎：歯の組織学，122～130，医歯薬出版，東京，1958.
Clickman,I,:Clinical Periodontology,76～78,W.B.Saunders,Phila.,1953.

（７）分担執筆の単行本文献引用記載は次の方式による．
分担執筆の単行本は，分担執筆者：分担執筆の表題，編者または監修者，書名，頁～頁，巻などの区別，発行者，発行地，発行年の順に記載する．

例：

津留宏道：テレスコープシステムの理論と実際，林都志夫，保母須弥也，三谷春保ほか編，日本の補綴，277～291，クインテッセンス出版，東京，1981.

Ogle,R.E.:Preprosthetic surgery,edited by Winkler,S.,Essentials of complete denture prosthodonitics,63～89,W.B.Saunders,Phila.,1979.

（８）翻訳書文献引用記載は次の方式による．
翻訳の単行本，論文は著者（翻訳者）: 書名（翻訳書名，頁～頁，発行者，発行地，発行年），発行年の順に記載する．

例：

Hickey,J.C.,Zarb,G.A.and Bolender,C.L.（川口豊造）:Boucher's prosthodontic treatment for edentulous patients（バウチャー無菌顎患者の補綴治療,397～399,医歯薬出版,東京,1988），1985.

３）表と図の書き方

（１）表と図は原則として 1 枚ずつ A4 版コピー用紙に貼る．用紙の右下端に著者名，図番号を明記する．トレースを希望する図は「要トレース」，掲載希望寸法を右肩部に朱書きする．

（２）写真は原則として手札版程度に作成し，上下を明らかにして A4 版コピー用紙に貼る．右下端に著者名，図番号を明記する．写真糊などを使用すること．
希望寸法を右肩部に「1/2 縮小」などと**朱書き**する．
カラー刷りの希望は明記する．

（３）表と図（写真を含む）は本文で引用順に，表は表 1，表 2･･････，図（写真を含む）は図 1，図 2･･････のように一連番号をつけて，本文の最後に綴じる．

（４）表の番号と説明文は表の上部につける．長い説明は下部に記載する．

（５）図の番号と説明文は図の下部につける．

（６）本文への挿入箇所は本文右欄に**朱書き**で示す．

（７）図表の説明文が英文のときは，和文をつける．

４）要約

200 字程度の和文要約を論文末尾に添付する．

３．校正

１）校正は朱書きで日本工業規格（JIS Z8280-1965）に準拠して行う．

２）校正を修了した印刷原稿と本原稿は速達，書留郵便で速やかに返送する．